

令和2年7月20日

地域の皆様へ

神戸大学医学部附属病院  
病院長 平田 健一

病院の新型コロナウイルス感染者の発生について（第3報）

このことについて、7月16日(木)と17日(金)にご報告いたしましたが、その後の経過も含めてお知らせいたします。

① 第1報および第2報でご報告しました新型コロナウイルスに感染した3名の看護師が勤務していた病棟に入院中の患者さんおよび職員のPCR検査を行った結果、全員の陰性を確認しました。また、7月15日(水)から2週間以内に退院された患者さんのうち、PCR検査を希望される方には順次検査を行っています。現在、同病棟で感染した看護師と勤務した職員については、自宅待機及び健康観察を行うとともに、病棟の感染対策に努めています。

② 7月18日(土)に、①の件とは別の病棟に勤務する医師1名の感染が新たに判明しました。

同医師と診療業務を行う別の医師3名のPCR検査を実施した結果、19日(日)に陰性を確認しました。現在のところ3名の医師には感染の症状はありませんが、うち濃厚接触のあった1名は2週間の自宅待機とし、他の2名は健康観察を行っています。この他に濃厚接触に該当する患者さんや職員はいません。

現在、本院では、感染対策を充分実施しながら、通常通りの診療を継続しています。

今後の対応につきましては、引き続き保健所の指導を仰ぎながら、万全を期する所存です。

皆様方には、ご心配と多大なご迷惑をお掛けすることとなり、誠に申し訳ございません。

皆様の安全・安心な受診に向けて、更なる努力をして参りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。